



活動取組

山口市立島地小学校



カヌー体験

「山口市コミュニティ・スクール具現化事業」の一環。児童の願いや提案を地域の大人たちと実現。

山口市立白石小学校



ICT機器を活用した熟議

6年生全員（118名）がグループ別にCS委員等と熟議。1人1台端末を活用して地域活性化案を発表。

山口市立小郡中学校



地域、警察と連携したVR動画制作

中学生が地域住民と交通安全について熟議を実施し、VR動画を作成。校区内外での啓発に活用予定。

山口市立湯田中学校



中学校区での「ゆだカフェ」

湯田地域在住の子育て中の保護者を対象とした保護者カフェ。地域交流センター職員も参加し歓談。

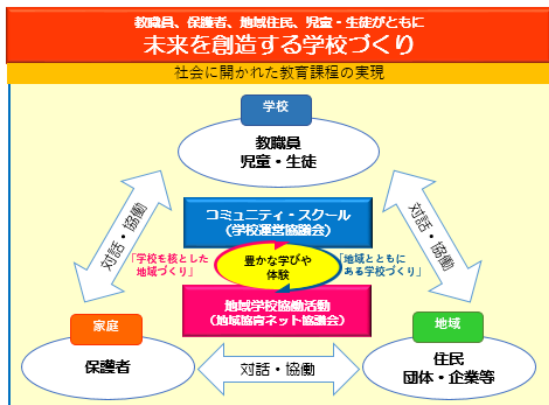
山口市の推進構想

【令和4年度山口市地域連携教育推進方針】

- 教職員、保護者、地域住民、児童・生徒が社会の担い手となる子どもの将来の姿を共有し、学校運営に参画・協働しながら「未来を生きぬく力」を育む学校づくりをめざします。
- 学校や地域を拠点に展開される教育活動を通して、多様な主体が対話と協働のもと、学びでつながる地域づくりに貢献します。

【これまでの成果】

- 学校運営協議会の仕組みやその運用が成熟している。
 - 学校・家庭・地域で育てたい子ども像が共有されている。
 - 子どもがふるさとに誇りや愛着をもっている。
 - 保護者や地域住民の学校への信頼度が高い。
 - 地域ぐるみの教育活動への理解が進んでいる。
- コミュニティ・スクールの基盤、学びの土壌がしっかりとしてきている。



【令和4年度山口市地域連携教育重点取組と成果指標】

- 1 コミュニティ・スクール、地域協育ネット協議会の活性化
→具現化を目指した熟議の活性化（児童・生徒の参画）
・協議・熟議の活性化（学校運営、学校支援、地域貢献）と内容の充実
・児童生徒の提案を実現する「山口市コミュニティ・スクール具現化事業」
- 2 地域連携教育の推進組織の充実・強化→地域・PTAとの連携強化
・コミュニティ・スクールからスクール・コミュニティへ
- 3 地域連携教育に係る広報活動の強化→当事者意識の向上へ
- 4 コミュニティ・スクール効果検証アンケート調査結果の分析と活用→教職員の参画強化
- 5 資質向上のための研修会の工夫→小中一貫教育への発展
・コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の研究（中学校区でめざす子ども像の共有、9年間を通じた教育課程の編成）
- 6 家庭教育支援→保護者カフェ・家庭教育講座、個別相談会の充実
- 7 推進体制の充実